

地質ニュース

昭和 59 年 12 月

第 364 号

1984

最近の地震活動と地震予知について……………小野 晃 司…10

1984年長野県西部地震の緊急調査報告……………栗田 泰 夫
原 山 秀 典
遠 藤 秀 典…20

地殻変動観測のためのドライティルト法……………衣笠 善 博…32

近畿中部の活断層の概要と
菅田山古墳（応神天皇陵）を切る活断層について……………寒 川 旭…43

会話型データ処理—その15—
GEOCAPS の岩石学・鉱物学への応用と展望……………吉井 守 正
佐 藤 岱 生…52

石 卷 ISHINOMAKI……………滝神 久 寒 片
沢 戸 保 川 田
文 信 和 光 正
教 和 也 旭 人…62

口 絵 1984年長野県西部地震に伴う岩屑流……………栗田 泰 夫
原 山 秀 典
遠 藤 秀 典

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

1984年9月14日午前8時48分 長野県西部の王滝村付近を震源としてマグニチュード6.8の地震が発生した。長野県西部地震である。この地震によって斜面崩壊が多発し、29人が死亡または行方不明となった。

斜面崩壊の最大のは、御岳山八合目付近で起こった山体崩壊であった。山体崩壊で生じた3,000万^m³の土石は、岩屑流となって伝上川から濁川を経て王滝川まで高度差1,600m 距離にして12kmを9分前後で流れ下った。王滝川は濁川との合流点付近から氷ヶ瀬（写真の下部右寄りの建物が見えるあたり）までの間、3.5kmにわたって、1,500万-2,000万^m³の岩屑に埋められた。厚さ最大50mにもなる岩屑にせき止められ王滝川には、長さ2.5km 最大幅250m（9月28日現在）の湖が誕生した。

写真は、地震発生後8日目（9月21日）にして初めて捉えられた岩屑流の全容である。

（写真 中日本航空K.K. 文 栗田泰夫）

1月号予定目次

年頭所感

地質調査所所蔵のメキシコ産白亜紀化石

夢の島——ジュラ紀の日本列島

（オリストストロームは語る）

地熱地帯における深部坑井掘削の現状

インペリアルウェアレーの地熱地帯を訪ねて

中国での非金属鉱床調査の状況(1)